

路線名	都道府県	対 象 区 間	１．整備手法の考え方	２．その他自由意見
東北中央道	山 形 県	南陽高畠 ～ 山形上山	いずれでも早期整備が可能となる方式を希望する。 なお、本区間は米沢南陽道路及び山形上山～東根の有料区間に挟まれた２４Ｋｍであり、両区間の利用拡大を図るうえでも有料道路の一連の区間として利用しやすいような整備手法を望む。	東北中央自動車道は、福島・山形・秋田三県の主要都市を結び、常磐・東北・山形・秋田自動車道と連結することで、東北地方における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより緊急時における代替、迂回路等の広域的なネットワーク機能の強化とともに、全国の交通網形成を図るうえで極めて重要な位置付けとなる路線である。 本区間は事業中の福島～米沢、米沢～米沢北、供用中の米沢南陽道路及び山形上山～東根とのネットワークを形成し、東北自動車道・山形自動車道と連結することから、福島～米沢北と一体的な整備を行うことがより大きな整備効果を発揮するものであり、早急な整備を進める必要がある。 また、一連の有料区間を利用するうえで米沢南陽道路に高速自動車国道と同様の料金サービスの導入を是非検討されたい。
		東根 ～ 尾花沢	いずれでも早期整備が可能となる方式を希望する。 なお、採算性などの課題があるとすれば、県で応分の責任を担う整備手法もやむを得ないものと考えている。	東北中央自動車道は、福島・山形・秋田三県の主要都市を結び、常磐・東北・山形・秋田自動車道と連結することで、東北地方における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより緊急時における代替、迂回路等の広域的なネットワーク機能の強化とともに、全国の交通網形成を図るうえで極めて重要な位置付けとなる路線である。 本区間が山形上山～東根及び国が事業中の尾花沢新庄道路等と接続することにより、最上地方生活圏及び秋田県南部が高速道路ネットワークで結ばれ、山形自動車道を介して仙台都市圏はもとより東北地方全体との広域的な経済圏の拡大が期待されるなど、本県の高速交通網を構築するうえでも非常に重要な区間であり、早急な整備を進める必要がある。 なお、東北中央自動車道と国道１３号とのアクセス性を考えると、特に東根～村山間の早期区間供用を望みたい。